

看護職正規職員に係る定着状況の調査結果報告

1) 2025年度（令和7年度）看護職正規職員に係る定着状況の調査結果

調査目的：看護職員の採用・退職状況を把握し看護職員の確保定着状況に係る対策および方針を検討する。

調査対象：秋田県内64病院（国公立27施設、民間37施設）

調査期間：2026年1月28日から2026年2月27日

調査方法：郵送配布、メール・FAX回収

回収率／回答病院の属性：回収率 98.4 % 国公立 27 施設、民間 36 施設

(1) 2025年4月1日現在の正職員数（人）

年代	計	保	助	看	准
20歳代	1820	1	65	1742	12
30歳代	1852	14	62	1747	29
40歳代	2210	19	63	2041	87
50歳代	1457	10	51	1291	105
60歳以上	412	2	5	276	129
計	7751	46	246	7097	362

(3) 正職員の採用者数（人）

	新卒計	既卒計	保健師		助産師		看護師		准看護師	
			新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒
20歳代	241	84	1	1	7	4	233	79	0	0
30歳代	6	72	0	1	1	2	5	67	0	2
40歳代	1	43	0	0	0	0	1	37	0	6
50歳代	0	21	0	0	0	0	0	17	0	4
60歳以上	0	14	0	7	0	0	0	5	0	2
計	248	234	1	9	8	6	239	205	0	14

(2) 2025年度の正職員の採用予定人数

採用予定者数	471人
--------	------

(4) 新卒採用者の出身校（大学、養成所）は県内か県外か（人）

計		保健師		助産師		看護師		准看護師	
県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
219	29	1	0	7	1	211	28	0	0

(5) 2025年度の退職者数（人）

年代	計	保	助	看	准
20歳代	208	0	12	196	0
30歳代	137	2	8	124	3
40歳代	92	0	3	81	8
50歳代	50	1	2	44	3
60歳以上	110	0	2	81	27
計	597	3	27	526	41

(6) 退職者の内新採用者の退職者数（人）

新採用者の退職者数	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒
	0	0	0	0	10	27	0	2
各資格ごとの計	0		0		37		2	

(7) 定年退職年齢

60歳	37件	61歳	4件	62歳	13件	63歳	3件
64歳	0件	65歳	5件				

(8) 定年退職者数（人）

保	助	看	准	計	再雇用希望者
0	2	62	12	76	57

(9) 離職状況 ※離職率の算出方法は日本看護協会の計算式を参照した。

①正規雇用看護職員離職率：8.3%

②新卒採用者離職率：4.0%

③既卒採用者離職率：12.4%

(10) 新卒職員の退職理由（複数回答）

自分の適性・能力への不安	6	業務内容	2	適正に問題あり	1	医療事故への不安	1
--------------	---	------	---	---------	---	----------	---

(11) 新卒・定年退職以外の退職理由（複数回答）

他分野の看護への興味	36	健康上の理由	28	出産・育児・子供のため	20	自分の適性・能力への不安	19
結婚	18	転居	16	配偶者の転勤	14	同僚との関係	14
親の世話・家族の介護	13	賃金	11	医療以外の他分野への興味	8	業務内容	7
家事と両立しない	5	通勤困難	5	医師との関係	5	夜勤回数	5
夜勤体制	5	上司との関係	3	医療事故への不安	3	患者・ケア対象者との関係	2
労働時間	2	休日取得	2	福利厚生	0	職員教育	0

その他：・部署異動拒否（2）・家業への転職（2）・他の医療資格取得（1）・進学（1）・看護体制（機能）（1）

・建物附属設備の老朽化（1）・孫の誕生（1）・家族関係上の問題（1）・夜勤をやりたくない（1）・土日休みたい（1）

(12) 看護職の確保定着・離職防止に関して取り組んでいること（複数回答）

(件)

有給休暇の取得の推進	54	外部研修への参加支援 ・費用補助	42	暴力ハラスメントに対し 組織的対策推進	33
メンタルヘルスの相談体制 の整備	32	給与・手当の増額	27	奨学金貸借制度の 取り組み	23
夜勤者の超勤をなくす 業務改善	21	短時間正職員制度	19	可視化されていない時間外 労働の把握と業務改善	16
時差出勤・退勤	12	勤務時間の選択	11	交代勤務形態の選択	11
メンタルヘルスの管理者、 スタッフへの教育体制の整備	11	期間限定労働時間短縮	2	年間労働時間契約制	2
フレックスタイム	1	ワークシェアリング	1	圧縮労働時間制	0

その他：・育児休暇明けで夜勤ができない場合の対応 ・クリニカルリーダー ・プリセプター制の導入
・休憩内時間外請求 ・福利厚生の充実 ・院内研修を時間内実施 ・勤務免除願の導入
・生理休暇や婦人科受診の休暇の名称を変え取得促進 ・交代勤務形態の選択可能 ・2交代勤務の推進
・年間休日日数を96日から108へ変更 ・メンタルヘルスの相談体制の整備 ・リフレッシュ研修

(13) 夜勤体制

(件)

2交代	36	3交代	19	2交代・3交代混合	8
-----	----	-----	----	-----------	---

(14) 2交代制において夜勤負担の軽減について実践していること（複数回答可）

(件)

仮眠室の確保	31	連続2時間以上の仮眠時間の確保	27	勤務拘束時間は13時間以内	8
--------	----	-----------------	----	---------------	---

その他：・夜勤明けは休みとする（9件） ・夜勤明けは概ね2連休とする（4件） ・連続夜勤の回数制限
・早番, 遅番等の柔軟な勤務体制の工夫 ・可能な範囲で希望を取り入れる
・子育てや介護等の家庭の状況に応じて夜勤回数を検討

(15) 3交代制において夜勤負担の軽減について実践していること（複数回答）

(件)

勤務間隔に11時間以上あけている	13	頻繁な昼夜遷移生じない交代制勤務である	10
------------------	----	---------------------	----

その他：・個人の希望に合わせて、柔軟なシフトを組んでいる（5件） ・正循環の勤務としている
・夜勤間隔や夜勤明けの休みを必須にしている

(16) 看護職の届出登録について

①退職される方へ届出登録について説明している（はい 53件 / いいえ 10件）

②届出登録についての説明を行っている担当者（複数回答）

(件)

看護部長	38	副看護部長	5	看護師長	12	事務部門	9
その他	看護協会連絡員		2	看護部事務	2	法人事務局	1

③登録方法（複数回答）

本人が登録	51	代行で登録	9
-------	----	-------	---